

民間提案型官民連携モデリング事業の概要

○ 「官民連携モデリング」とは、民間提案に基づく新たな官民連携手法を、国土交通省の調査委託の中で民間事業者・国土交通省と一体となって構築し、地方公共団体に広げていく取組。

ニーズ：地方公共団体が抱える公共施設等の課題（インフラ老朽化、技術職員不足、カーボンニュートラルの推進、遊休公的不動産 等）

積極展開

地方の課題解決に向けて、民間事業者が有するソリューションを募り、**明確化**した上で、国土交通省が一体となって**全国自治体等に積極展開**し、新たなモデルを形成

シーズ：民間事業者が有するPPP/PFIのノウハウや技術を活用した新たな事業スキーム

【シーズイメージの一例】

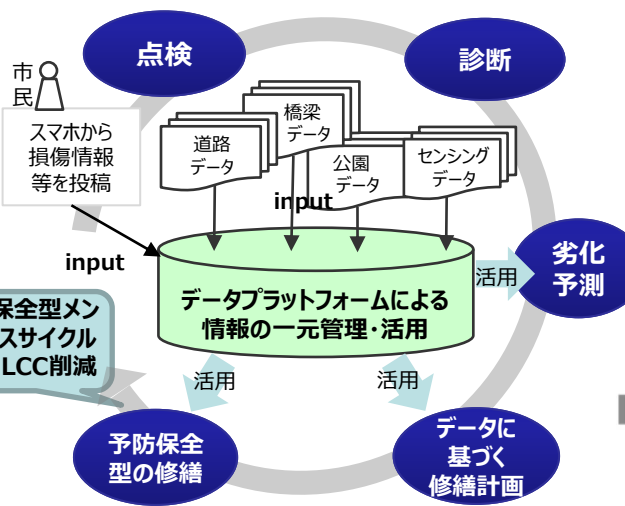
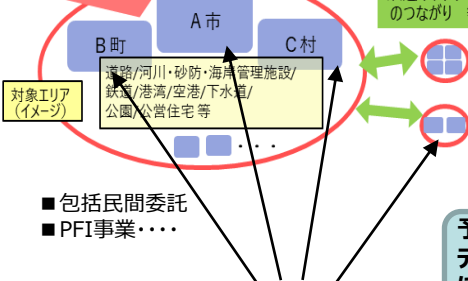
広域・複数・多分野の
インフラ群マネジメント

データプラットフォームを活用
した戦略的なメンテナンス

新技術・デジタルツールを活用した点検・検知

複数・多分野の施設を「群」としてまとめて捉え、地域の将来像に基づき将来的に必要な機能を検討

広域の道路や鉄道ネットワークのつながり 等



一元的なオペレーションを通じた
スケールメリットの発揮

